



このコーナーでは「トピックス」と題して、地域の明るい話題、できごとなどを掲載しています。みなさんのがまわりでよい催し物や行事などがありましたら市広報広聴課（電話51-0123 内線528）までご連絡ください。



ママさん市

=北海道のカボチャに人気=

北海道から、新鮮なカボチャや、ジャガイモを……と、富士市消費者運動連絡会では、10月2日市内15カ所で、ママの市を開きました。

このママの市は、新鮮なカボチャ、ジャガイモ、玉ねぎを北海道から直送し、市民の皆さんにおいしく食べていただこうというもので、今年で4回目です。

会場のひとつ、今泉中央図書館前では、開始と同時に大勢の人がドットつめかけ、役員さんたちが、馴れない手つきで売りさばいていましたが、1時間たらずで、全部売れてしまうほどの人気でした。

【写真・カボチャもえびす、顔もえびす】

今泉小跡に記念碑を建立

=創立100周年記念事業=

9月30日午前9時から市立中央図書館前で、今泉小学校跡記念碑除幕式があこなわれました。

この記念碑は、現在の今泉小学校が、明治11年から昭和12年まで、今泉7丁目（水の上町）に村立今泉小学校として開校されていたことを記念して建てられたものです。

除幕式には、今泉小学

校創立百周年記念事業実行委員の皆さんをはじめ、校長先生、卒業生など、おおぜいの関係者があつまり盛大におこなわれました。



【写真・今泉小跡記念碑の除幕式】

◀ どれも力作ぞろい

第12回 市展あわる

芸術の秋を彩る富士市美術・写真展が、9月29日から10月1日までの3日間、富士文化センターで開かれました。

この市展は、今年で12回目となり、作品は油絵、水彩画、日本画、工芸などの美術展が177点、写真展が116点出品され、どれも優秀な作品ばかりでした。

【写真・会場に300余点が展示】



【写真・書、手芸などを展示】



▲ 丹精こめた作品を展示

第8回 市福祉展

からだの不自由な人やおとしより未亡人などが日ごろ、丹精こめてつくった作品をおおぜいの人見てもらおうと、第8回市福祉展が、10月12日、13日の2日間、吉原市民会館で開かれました。会場には、書・絵画、盆栽をはじめ木工品、手芸など約400点が展示され、茶席なども設けられておおいにぎわいました。

“大作がいっぱい”

第13回 発明くふう展



【写真・大作がいっぱいの会場】

すばらしいアイデアを生かして考案される第13回富士市発明くふう展は10月7、8、9の3日間、盛大に開かれました。この発明くふう展は年ごとにさかんになり、ことしは一般、小中学生など330点が展示され審査の結果、市長賞に秋山安弘君（岳陽中）の「太陽高度及び方角測定規器」の作品がえらばれました。

他の作品も力作ばかりで、数多い賞と賞品が贈られ
3日間とも会場は親子連れて賑わいました。



【写真・市民で賑う緑と花の百科展会場】



【写真・老いも若きもゴールめざして…】

全員が完走

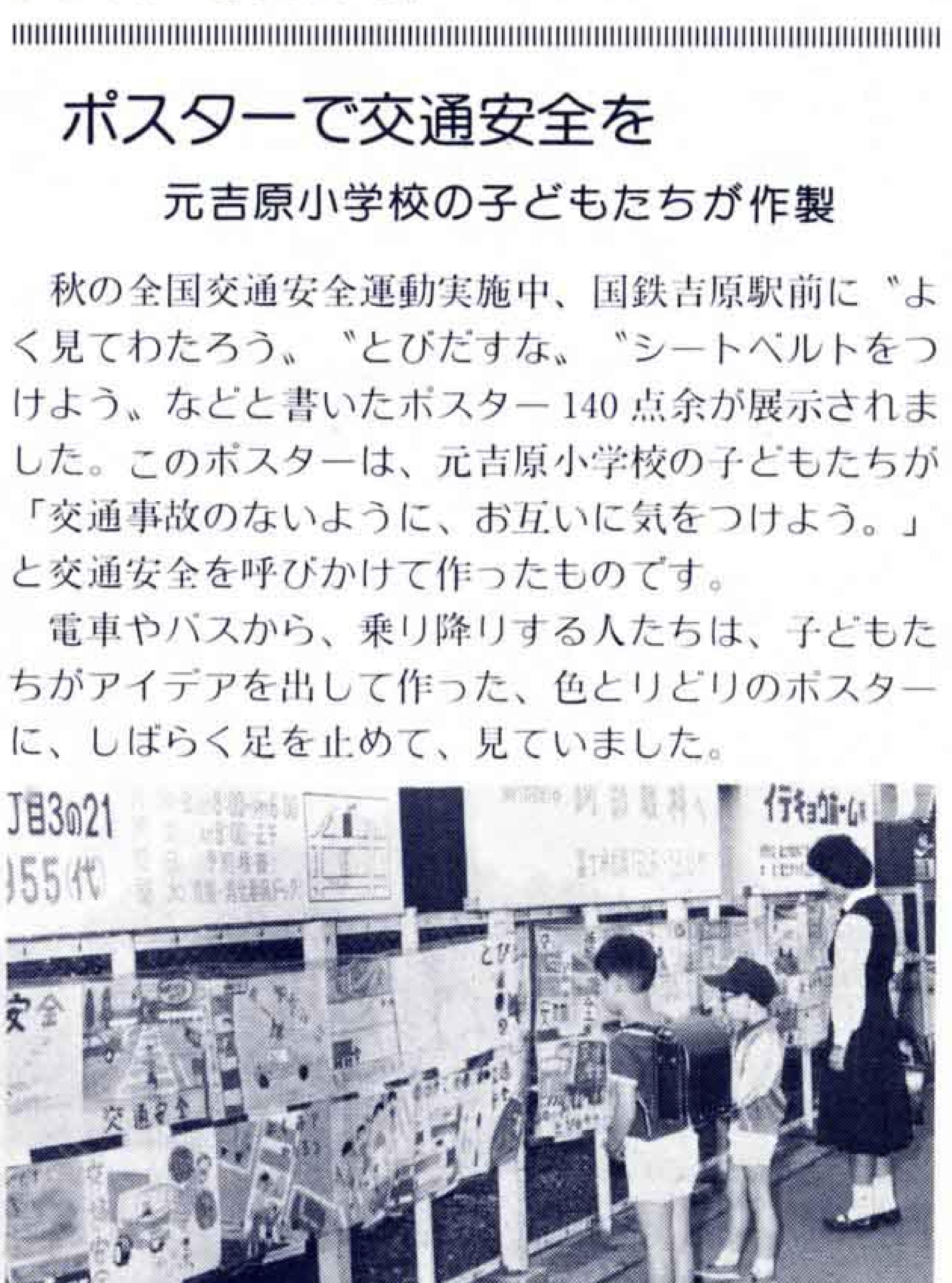
元吉原海岸でトリムラン

歩こう、走ろう、マイペース。

トリムマラソン静岡大会が10月10日の体育の日、元吉原海岸防潮堤で開かれました。

10キロメートル走の部は、15人がひと組となり、1分間隔にスタート。中学生からお年寄りまで、参加者215人全員が完走。特に、この日とび入り参加した外人さんには、さかんな拍手があくられました。

一方、ジョッギングの部は、小学生と婦人が中心で
5キロのコースを途中で体操したり、休憩したりして
ゆっくりと走りました。



【宜真・駅前広場にかざられたポスター】